平成25年度　Ｄブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月6日（木）

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

残薬確認と対応が上手くいかない。

　　　確認を嫌がられる、持参してこない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

アドヒアランス不良による服用忘れ（医師に知られたくない）

残薬を持参しない（持ってくるのを忘れる、確保しておきたい薬がある）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | D4-a班 | 目標：残薬確認をスムーズに行う |   　　目標にいたる具体的な解決策   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | いつ  （実施時期） | 明日から | 誰が  （実施主体） | 薬局全体で | | 誰に  （働きかけ先） | 患者さんに | | | | どのように  （方法） | 服用  普段から病識、薬識の理解が良くなるような服薬指導をする。  回数の少ない用法へ変更してもらう。  服用を忘れたときの対処法まで説明する。  服用忘れを否定しない、服用ができたら褒める。  持参  持参すれば、負担金を安くすることもできる（処方日数調整）  医療費削減の話をする。  残った薬を間違って服用すると危険なこともある。  残薬持参に感謝を伝える。 | | | | 備考 | 残薬の対応について。回収するだけでは残薬は減らない。アドヒアランスの向上による服用順守が必要。受診間隔が早かったり、処方変更のときが、しっかり状況を確認するきっかけになりやすい。 | | | |

◆振り返り

D4-aは勤務歴の長い薬剤師が多いので、普段からコミュニケートがとれている。ディスカッションもスムーズにはじめられたが、年配者が「決まり」を忘れてしまう場面もあり。アクションラーニングの形式には程遠い形であったが、全員発言はできました。今後も回数を重ねればさらに成果をだせるものと感じました。